

新旧操作手順書 2022年5月版

弊社の複合機をお使いくださっているお客様へ
操作パネルを中心に新しい複合機の主な操作手順をご案内します。
代替時でも安心してご利用いただくための資料です。



対象機種	対応コントローラーバージョン
Apeos C7070 / C6570 / C5570/ C4570 / C3570 / C3070 / C2570	Ver1.2.5
Apeos C8180 / C7580 / C6580	Ver1.2.4
ApeosPro C810 / C750 / C650	Ver1.2.4
Apeos 4570 / 3570	Ver1.2.4
Apeos C2360 / C2060	Ver1.1.0
Apeos 3060 / 2560	Ver1.1.0
Apeos 1860	Ver1.1.0

[コントローラーバージョン確認方法]

 > 機械確認(メーター確認) > 詳細情報 > ソフトウェアバージョン > controller ROM

目次

次ページ以降の画面キャプチャは、主に、操作パネルが10.1インチのものになります。
お使いの機種によって、表示内容が変わる場合がありますが操作方法は同じです。

主な従来機

- ・ ApeosPort-VI / DocuCentre-VI C7771 シリーズ
- ・ ApeosPort-V / DocuCentre-V C7785 シリーズ
- ・ DocuColor 7171 P / 5656 PN

ハードキーレスの新しい操作パネル	3
基本のお作法を覚えてらくらく操作	4
ホーム画面が上下スクロール表示に	5
コントロールメニュー	6
ホーム画面のアイコンを好きな位置に配置したい	7
スキャンの送信指示が1度にできる	9
ソフトウェアワンタッチボタン	10
ソフトウェアワンタッチボタンの登録から表示まで	11
コピー設定項目の表示順をカスタマイズしたい	13
実行完了ジョブを確認したい	15
コピー中のジョブを中止したい	16
蓄積文書をプリントしたい	18
出力中「割り込み」をしたい	20
ファクス送信宛先指示方法 ー番号入力で指定する方法ー	22
ファクス送信宛先指示方法 ーアドレス帳から送信先を指定する方法ー	23
ファクス送信宛先指示方法 ーアドレス帳でインデックスキーを利用する方法ー	24
ファクス送信宛先指示方法 ーグループ宛先を指定する方法ー	25
ファクスグループ宛先から送信先を任意に選択したい	26
ファクス/スキャンアドレス帳を「登録番号」順に表示したい	27
「登録番号」を登録したい	28
親展ボックスの新規登録をしたい	30
親展ボックス保存後、インターネットサービスで取り出し	32
よく使う設定を記憶させてワンタッチで操作したい	35
操作パネルの表示言語を変えたい	37
本体の電源を切る方法	39
メーター確認方法	40
消耗品残量確認方法	41
操作パネルに表示する主な機能ボタン	42

ハードキーレスの新しい操作パネル

テンキーやスタートボタンをなくし、シンプルに。すべての操作をタッチパネル内で完結できるようにデザインしました。

- オレンジ**：操作パネルからなくなり、各機能内に配置されたもの。または、機能提供がなくなったもの。
- ブルー**：ソフトウェアキーとなり配置が変わったもの

従来機



登録ボタン

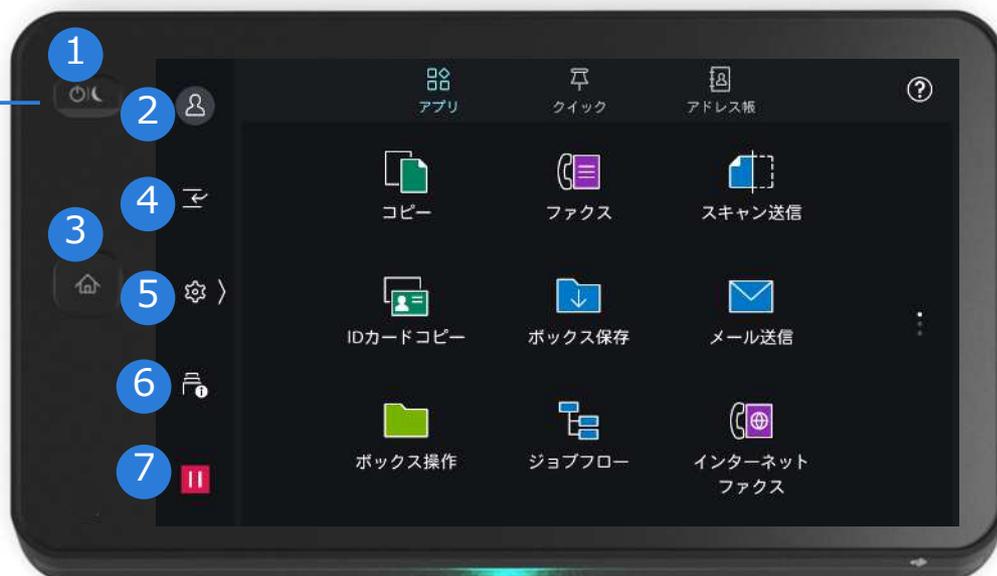
機能提供なし

スタート テンキー リセット

コピーやファクスなど各機能内に配置

これらのハードボタンは、各機能の中に移動

新機種



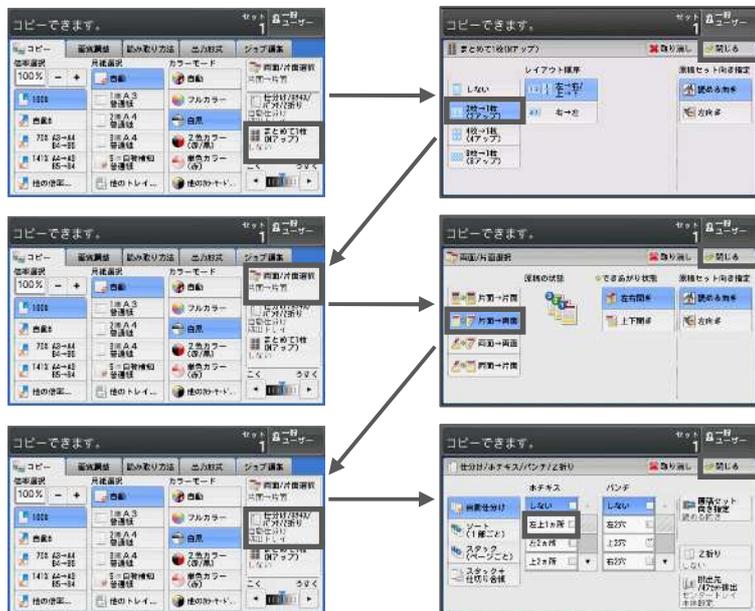
- ① **電源 / 節電**
節電ボタンと電源ボタンを統一
- ② **認証**
ハードボタンは無くなり  と表示
ログイン時、ユーザー名の頭文字を表示
- ③ **ホーム(名称変更)**
初期画面に戻り、各機能の設定がオールクリアされる
- ④ **割り込み**
工場出荷時は、コントロールメニューの1番に表示
- ⑤ **機械確認(メーター確認)**
コントロールメニュー内に表示
- ⑥ **ジョブ情報(名称変更)**
工場出荷時は、コントロールメニューの2番に表示
- ⑦ **ストップ**
コントロールメニュー内に表示

基本のお作法を覚えてらくらく操作

各機能、共通の動作を取り入れ一貫性を持たせています。

画面の遷移は、大きく3ステップ。たとえば、コピーで比較してみましょう！

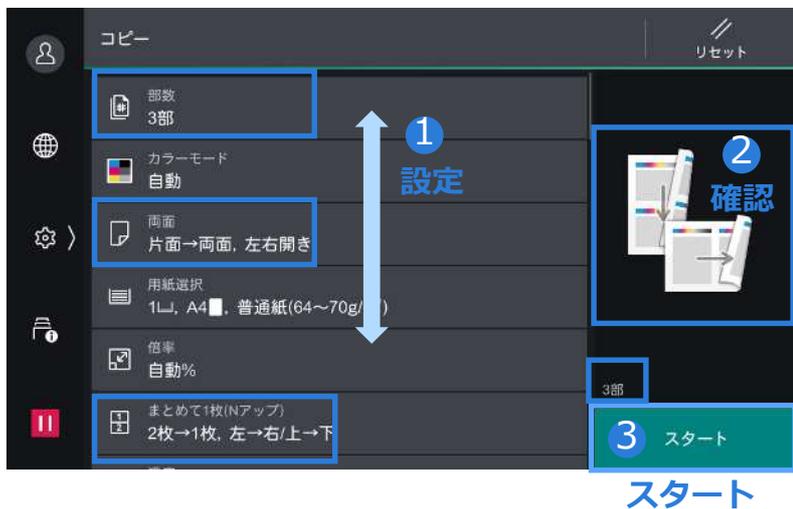
従来機 [3部+2アップ+両面+ホチキスの場合]



複数のページをまたがって設定

いくつかの設定画面を開く/閉じるを繰り返して操作します。設定後は、ハードキー側にあるスタートボタンを押す必要がありました。

新機種 [3部+2アップ+両面+ホチキスの場合]



① 詳細設定は、一覧表示。タブの移動がなく、一覧から選択するため操作が覚えやすくなっています。

② 設定内容と部数を確認
コピーならイメージ図で分かりやすく表示
ファクスなどでは、送信先を表示

③ スタート

3ステップ

ファクスやスキャンでは、宛先入力画面と機能一覧を切り替えて設定します。



ホーム画面が上下スクロール表示に

スマートフォンに採用されている直感的な操作性を複合機に導入しました。



- **ホーム画面が左右送りから上下送りへ**
メニュー画面の表示は、左右送りから上下送りになります。補助メニューは、コントロールメニューに集約されます。
(詳細次ページ以降)

- **スムーズな表示切替動作**
上下の操作でご要望のアイコンまでサクッとご案内します。従来機より滑らかでスマホに近づいた感覚です。

- **アイコンの配置**
アイコンは、使いやすい場所に配置することが可能です。よく使うアイコンを上部に配置すればスワイプも不要になります。アイコンの場所を固定することも可能です。
(アイコンを自動でつめずに間をあけて配置可能)

* オプション構成によって表示されるアイコン数・アイコンの配置は変わります。



コントロールメニュー

設定やレポート類、主に機械管理者が利用するものは、コントロールメニューに集約しました。従来機の補助メニューにあった機能は、コントロールメニュー内にあります。

従来機



新機種



3 登録/変更
各アプリケーション内に移動



● コントロールメニューのアイコン配置

自由に配置することが可能です。

1番、2番は、常時、表示されます。「割り込み」や「言語切り替え」の登録がお勧めです。

操作パネルやインターネットサービスで設定変更が可能です。

操作パネル



インターネットサービス



1・2番は、常に表示される

* オプション構成によって表示されるアイコン数・アイコンの配置は変わります。

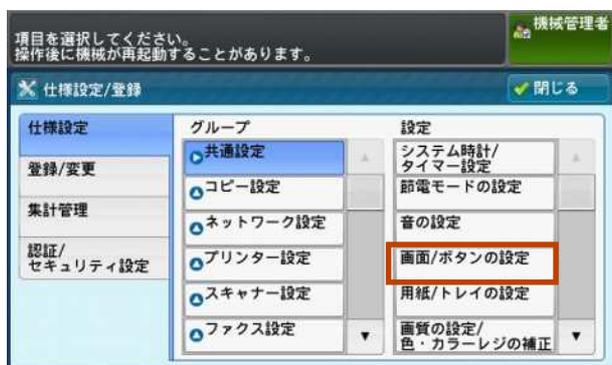
ホーム画面のアイコンを好きな位置に配置したい

従来機

1. <認証> ボタンまたは [一般ユーザー] を押して機械管理者でログインします。



2. [仕様設定/登録] ボタンを押します。
[共通設定] > [画面/ボタンの設定] を押します。



新機種

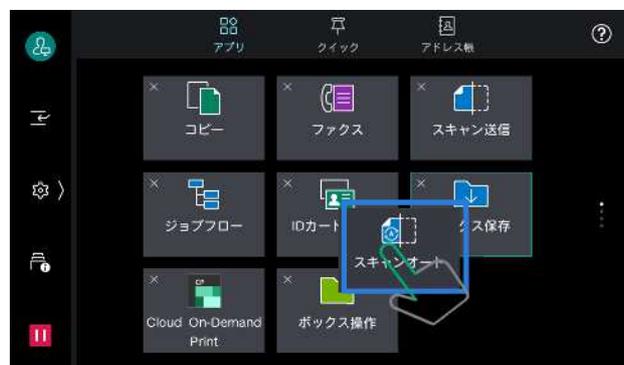
1. 機械管理者でログインし、ホーム画面内を長押しします。



2. アイコンに「×」が表示され、配置変更可能な状態になります。



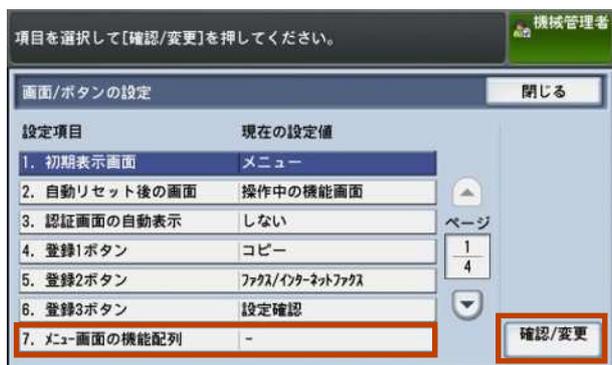
3. 配置を変えたいアイコンを押して、そのまま移動させます。



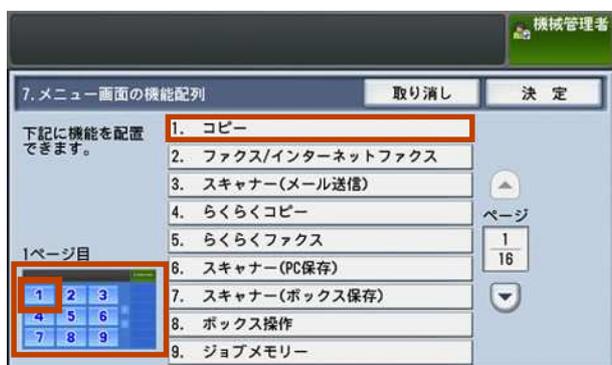
注記

ドラッグできるのは同じページ内のみです。
ページをまたいで移動することはできません。
(ページをまたいで移動する場合は、次ページの注記1を参照)

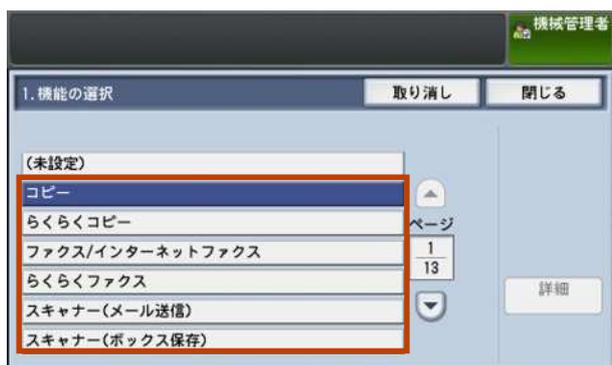
3. [メニュー画面の機能配列] > [確認/変更] を押します。



4. メニュー画面に配置したい場所の番号を確認にして、該当番号の機能を選択します。



5. 4.で選択した位置に配置させたい機能を選択します。



6. [閉じる] ボタンを押します。

4. [ホーム] ボタンを押します。



注記1

[+]をタップし、任意のアプリケーションを選択するとアイコンを表示できます。



ページをまたいでアイコンを移動する場合は、表示させたい移動先の[+]をタップし、アプリを選択することで、移動元が空白になります。

注記2

[x] をタップすることでアイコンを非表示にすることが可能です。



注記3

インターネットサービスからも設定可能です。
機械管理者でログイン> アプリ> 本体のアプリ画面の機能配置

スキャンの送信指示が1度にできる

スキャン送信時、送信先にメールアドレスやPC保存が混在していても、一度の指示で送信完了できます。

従来機 [メール送信とPC保存を同時に行いたい場合]



いちいち、機能ごとに指示する必要あり

- スキャナー(メール送信)、スキャナー(PC保存)をそれぞれ起動して送信指示する必要がありました。

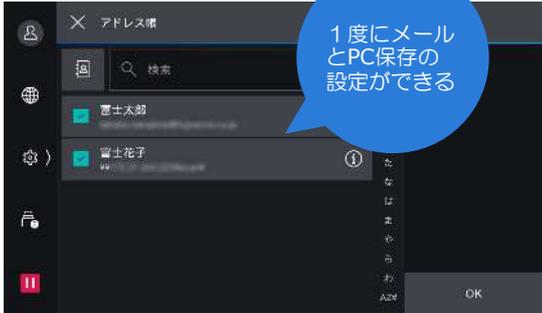
例えば、同じ原稿をスキャナー(メール送信)で先方に送り、控えとして自分のPCにスキャナー(PC保存しておきたい場合、各機能を別々に起動して、合計2回送信指示する必要がありました。

新機種 [メール送信とPC保存を同時指示は、スキャン送信で]

スキャン送信

1 

2 

3 

1つに集約
メール送信
PC保存
URL送信

1度にメールとPC保存の設定ができる

従来機では、メール送信、PC保存、URL送信に分かれていましたが、「スキャン送信」に集約しました。スキャン送信では、メール送信やPC保存などが混在していても送信指示が可能です。

(最大送信件数：Eメール100件、SMB/FTP10件、URL送信1件)

これにより、同じ原稿をスキャン(メール送信)で先方に送り、控えとして自分のPCにスキャン(PC保存)しておくといったことが、1度のスキャンで可能です。

ソフトウェアワンタッチボタン

従来機(ハードウェアワンタッチボタン)



短縮番号
=ワンタッチ
ボタンの番号



- 宛先表の短縮番号0001は、ワンタッチボタンの01番へ割り付けられます。
- ワンタッチボタンを修正したい場合、宛先表の登録全体を修正する必要があります。
- 宛先名シールを貼付する必要があります。
- 内蔵型ICカードリーダーとワンタッチボタンの併設はできませんでした。

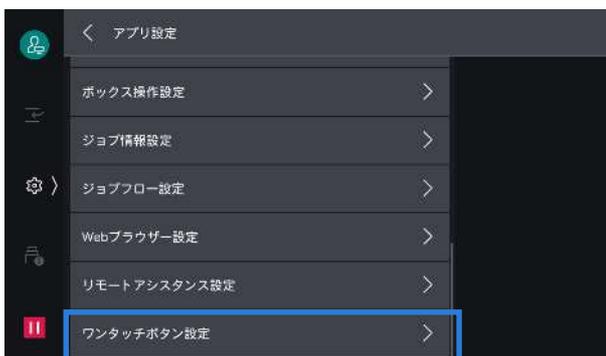
新機種(ソフトウェアワンタッチボタン)



ワンタッチボ
タン位置登録
は自由



- ワンタッチボタンは、登録済みのアドレス帳から選択が可能です。
- ワンタッチボタンの修正をしたい場合、アドレス帳から再設定するだけなので、アドレス帳を編集する必要はありません。
- 宛先名のシールは不要です。
- 内蔵型ICカードリーダーとの併設が可能です。



- ワンタッチボタンは、操作パネルやインターネットサービスから登録が可能です。
- 最大72個登録可能です。
- ワンタッチボタンを表示するには、機械管理者モードで表示を有効にする必要があります。また、ファクスアプリを開いたときにワンタッチボタンが表示されるように設定することをお勧めします。

次のページで設定方法をご案内します。

ソフトウェアワンタッチボタンの登録から表示まで

- あらかじめ、アドレス帳に宛先を登録しておく必要があります。
- 初期画面表示の設定をしない場合、キーボードが表示されます。

新機種

登録済みアドレスをワンタッチボタンに関連付ける設定

1. 機械管理者でログインし、コントロールメニューを開きます。



2. [設定]をタップします。



3. [アプリ設定]をタップします。



4. [ワンタッチボタン設定]をタップします。



5. [未登録]をタップします。



6. 該当のアドレスを選択し、[OK]をタップします。



注記

1つのアドレスに複数の宛先種別が登録されている場合は、宛先種別の選択画面が表示されます。

ワンタッチボタンを表示する設定

1. 機械管理者でログインし、コントロールメニューを開きます。



2. [設定]をタップします。



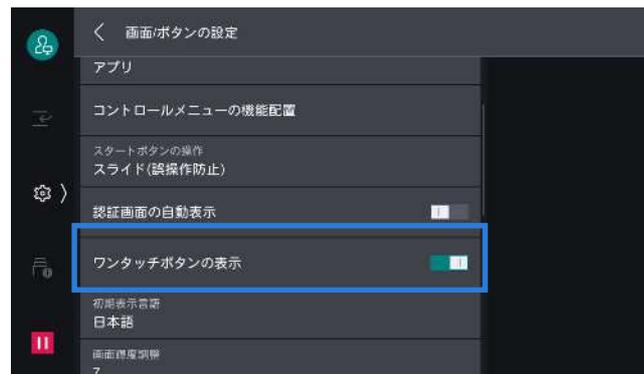
3. [システム設定]をタップします。



4. [画面/ボタンの設定]をタップします。



5. [ワンタッチボタンの表示]を有効にします。



注記



有効



無効

6. ホームボタンを押します。

注記

ワンタッチボタンが表示されるのは、アプリケーションをタップした場合のみです。



ホーム画面のアドレス帳をタップした場合は、一覧表示となります。



コピー設定項目の表示順をカスタマイズしたい

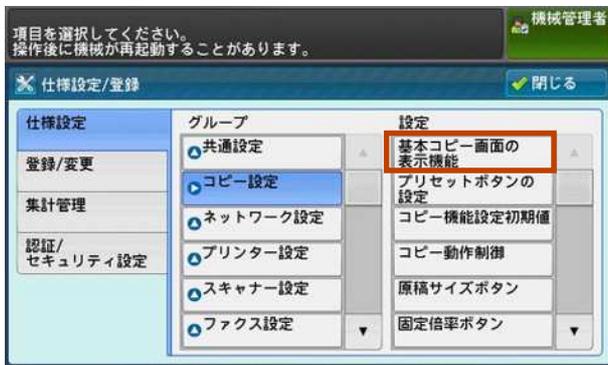
—表示順を変えたり、表示/非表示を設定したい—

従来機

1. <認証> ボタンまたは [一般ユーザー] を押して機械管理者でログインします。



2. <仕様設定/登録> ボタンを押します。 [仕様設定] > [コピー設定] > [基本コピー画面の表示機能] を押します。



新機種

1. 機械管理者でログインし、[コントロールメニュー]をタップします。



2. [アプリの表示カスタマイズ]をタップします。

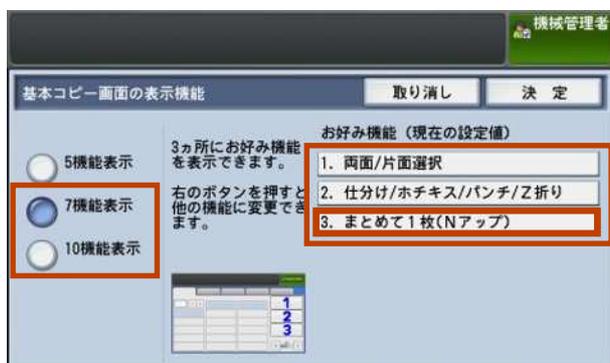


3. [コピー] をタップします。

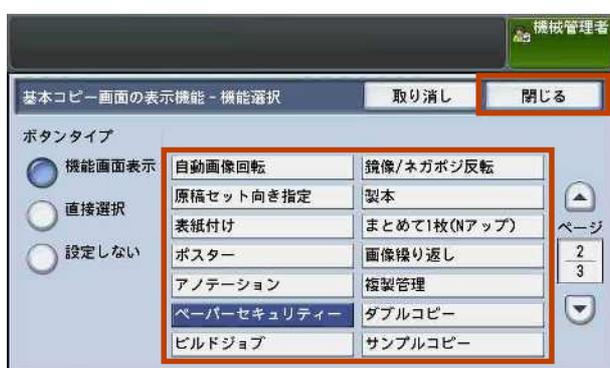


従来機

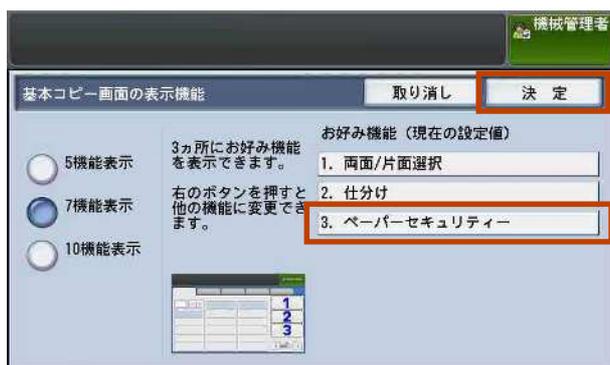
3. [7機能表示] または [10機能表示] を押します。登録したい番号の機能名を押します。



4. 手順3.で選択した箇所に登録したい機能名を選択して [閉じる] を押します。



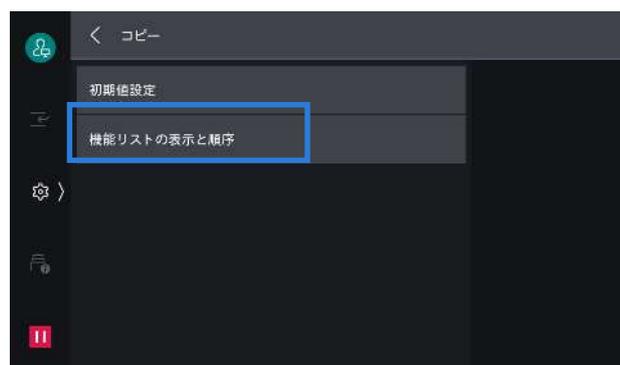
5. 4.で選択した機能が登録されていることを確認して [決定] を押します。



6. [閉じる] ボタンを押します。

新機種

4. [機能リストの表示と順序]をタップします。



5. 表示順を変えたい機能を長押ししてドラッグし、移動します。

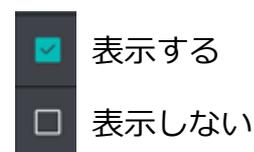


6. [OK] をタップします。



注記

表示、非表示の設定は、チェックマークを以下のようにします。



実行完了ジョブを確認したい

—ファクス送信完了ジョブを確認する方法—

従来機

新機種

1. <ジョブ確認> ボタンを押します。



2. [実行完了] タブを押します。
該当のジョブを選択します。



必要に応じて、すべてのジョブからジョブの種類を選択してフィルタリングすることが可能です。



1. ホームから [ジョブ情報] をタップします。



2. スクロールして、該当のジョブを確認します。ファクスジョブのみに絞り込みたい場合は、[すべてのジョブ] をタップします。



3. すべてのジョブをタップした場合は、さらに、[ファクスジョブ] タップして確認します。



コピー中のジョブを中止したい —[ジョブ情報]から中止する方法—

従来機

1. <ジョブ確認> ボタンを押します。



2. [実行中/待ち] タブを押します。
該当のジョブを選択します。



3. [中止] ボタンを押します。



新機種

1. ホームの[ジョブ情報]をタップします。



2. スクロールして該当のジョブを選択、または[すべてのジョブ] をタップし [実行中/待ちジョブ] を選択します。



3. [中止]をタップします。



注記

スタートしてすぐに表示される画面でストップすることも可能です。



注記

ストップボタンは、ホーム画面の左下に常時表示されています。
こちらでストップすることも可能です。



蓄積文書をプリントしたい —プライベートプリントの出力方法—

従来機

1. <認証> ボタンまたは [一般ユーザー] を押して登録済みユーザーIDでログインします。



2. <ジョブ確認> ボタンを押します。



3. [保存文書] タブを押します。



新機種

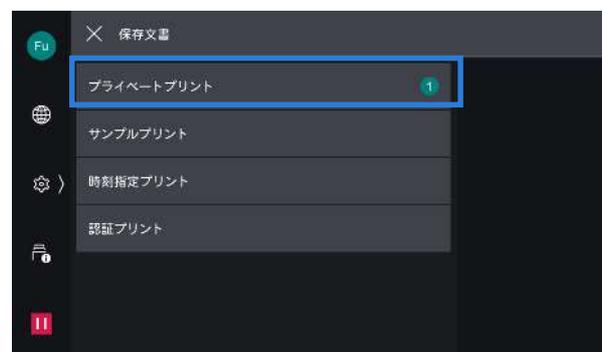
1. [ゲスト] をタップして登録済みユーザーIDでログインし、[ジョブ情報] をタップします。



2. [保存文書] をタップします。



3. [プライベートプリント] をタップします。



従来機

4. [プライベートプリント] を押します。

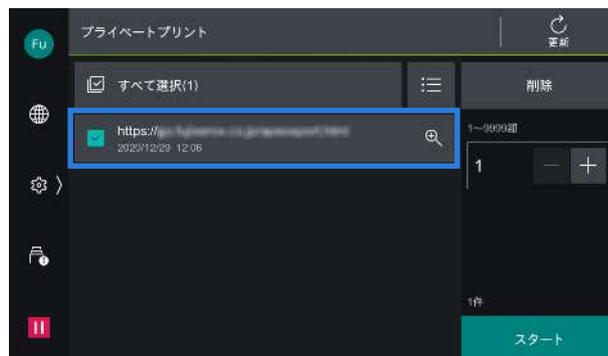


5. 該当文書選択して [プリント] を押します。

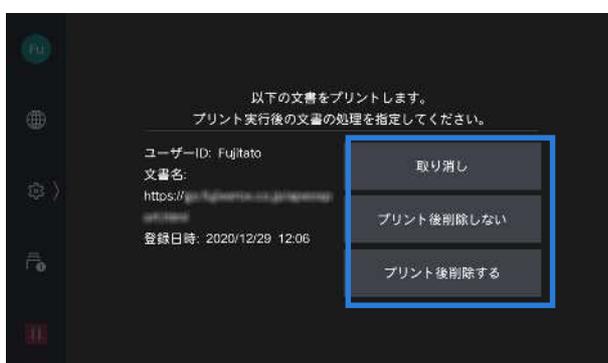


新機種

4. 該当文書を選択して[スタート]をタップします。



5. プリント実行後の処理を選択します。



注記

ホーム画面に [プライベートプリント] や [プライベート (一括出力)] を配置しておくことでもっと簡単にプライベートプリントの出力が可能になります。



[プライベート (一括出力)] タップするだけで蓄積されている文書が一括出力されます。ジョブを選択したり、スタートをタップする必要がなくなります。

出力中「割り込み」をしたい

—大量プリントに「割り込み」する方法—

従来機

新機種

1. コピー出力中



2. <割り込み> ボタンを押します。
<割り込み> ボタンが点灯し、割り込み可能な状態になったことを示します。



3. 割り込んでコピーする原稿をセットし、必要に応じて、機能を設定します。



1. コピー出力中。



2. [割り込み]をタップします。



3. 割り込み中になったことを確認します。
割り込み中になると、アイコンが白から緑色に変わります。



従来機

4. 割り込みコピーが終了したら、〈割り込み〉ボタンを押します。
〈割り込み〉ボタンが消灯し、割り込みが解除されたことを示します。



5. 一時停止されていたジョブがスタートします。

新機種

4. 割り込みしたいジョブを実行します。
以下は、〔コピー〕操作。



5. 再度〔割り込み〕をタップし、割り込みモードを解除します。



6. 一時停止されていたジョブがスタートします。

ファクス送信宛先指示方法

—番号入力で指定する方法—

従来機

1. [ファクス] を押し、ファクス基本画面から [宛先表] を押します。



2. ハードテンキーで宛先番号を入力します。



3. [スタート] ボタンを押します。

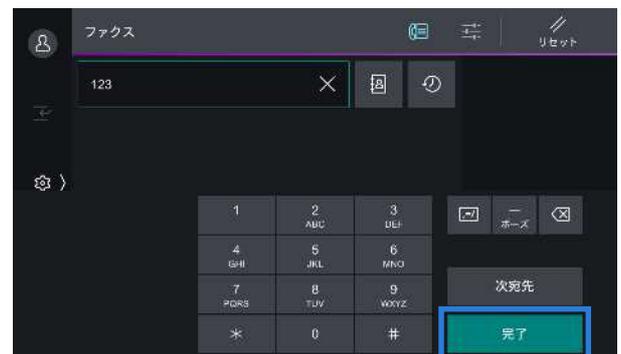


新機種

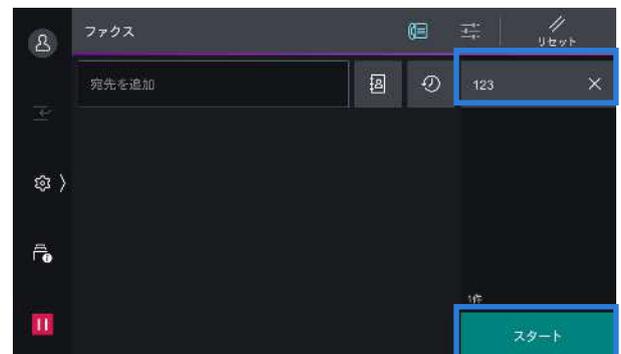
1. [ファクス] をタップします。



2. ソフトテンキーで宛先番号を入力後、[完了] をタップします。



3. 送付先を確認し [スタート] をタップします。



ファクス送信宛先指示方法

—アドレス帳から送信先を指定する方法—

従来機

1. [ファクス] を押し、ファクス基本画面から [宛先表] を押します。



2. 送信する宛先を選択して [閉じる] を押します。



- 一度に複数の宛先に送信した場合は、送信したい宛先を複数選択します。

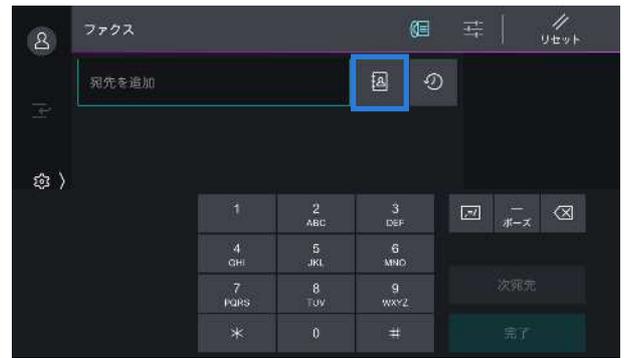
3. [スタート] ボタンを押します。



- さらに、宛先を追加したい場合は、「+次宛先」ボタンを押して、もう一度 [宛先表] を押します。

新機種

1. [ファクス] のアドレス帳をタップします。

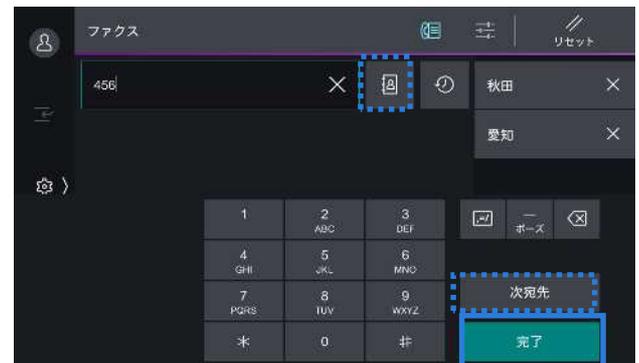


2. 送信先を選択し [OK] をタップします。



- 一度に複数の宛先に送信した場合は、送信したい宛先を複数選択します。

3. [完了] をタップします。



- さらに、宛先を追加したい場合は、アドレス帳からもう一度、宛先を指定します。あるいは、テンキーで番号を入力後、[次宛先]をタップしてください。

ファクス送信宛先指示方法

—アドレス帳でインデックスキーを利用する方法—

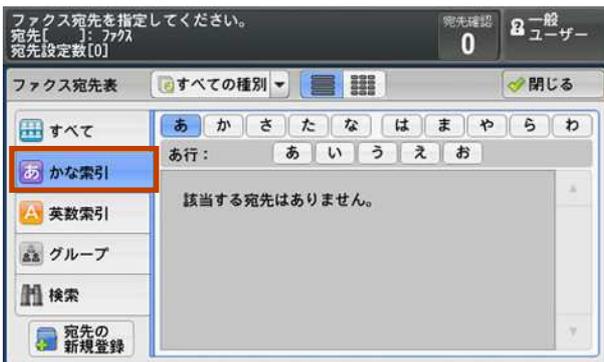
従来機

新機種

1. [ファクス] を押し、ファクス基本画面から [宛先表] を押します。



2. [かな索引] タブをを押します。



3. 索引したい頭文字を選択し、更に、索引したい文字を押します。。



1. [ファクス] のアドレス帳をタップします。



2. インデックスの頭文字を長押し、指を離さず、スライドして該当の文字をタップします。



注記

言語設定が「日本語」の場合のみインデックスキーが利用可能です。
言語設定が「日本語」以外では、インデックスキーを長押ししても候補の文字は表示されません。

ファクス送信宛先指示方法

—グループ宛先を指定する方法—

従来機

新機種

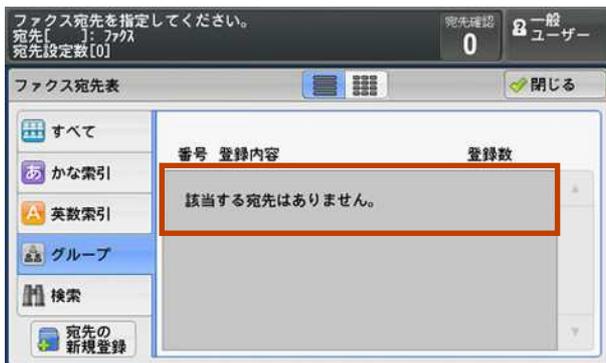
1. [ファクス] を押し、ファクス基本画面から [宛先表] を押します。



2. [グループ] を押します。

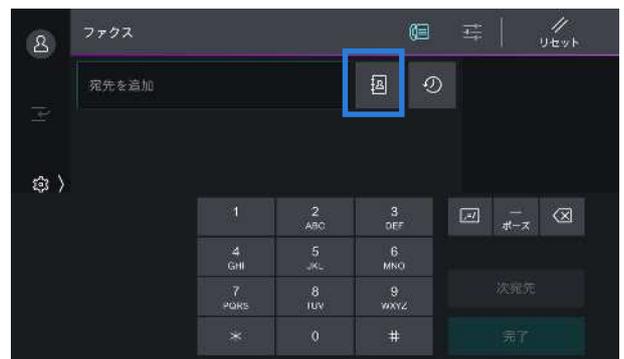


3. 宛先グループを選択して [閉じる] を押します。



- グループに登録されているすべての宛先へ送信されます。

1. [ファクス] のアドレス帳をタップします。



2. 登録済みの [グループ] を選択し [OK] をタップします。



注記

個人宛先か。グループ宛先かは、アイコンで見分けます。

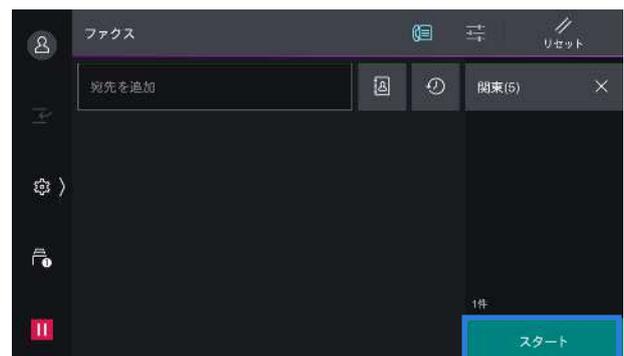


個人宛先



グループ宛先

3. [スタート] をタップします。



- グループに登録されているすべての宛先へ送信されます。

ファクスグループ宛先から送信先を任意に選択したい —グループ送信時、「今回のみ、●●を外したい」の方法—

従来機

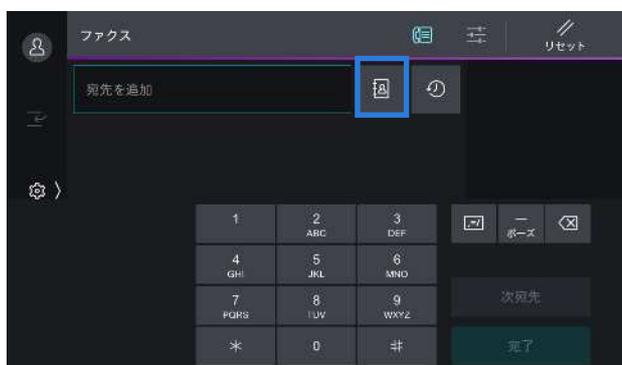
注記

従来機の場合、通常メニューの「ファクス」ではできません。

複合機追加型アプリケーション「かんたんUIパッケージ」の「カスタムファクス」で可能な機能でした。

新機種

1. [ファクス] のアドレス帳をタップします。



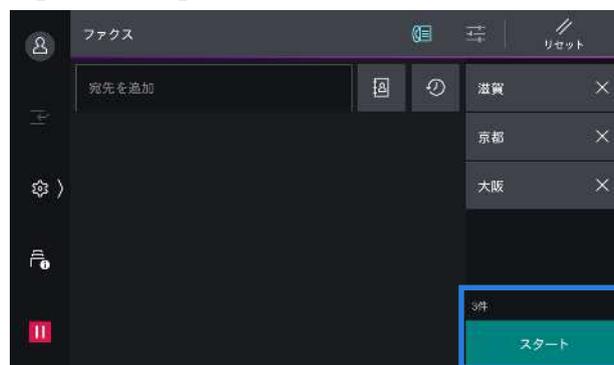
2. 登録されたグループの ⓘ をタップします。



3. グループに登録された宛先が表示されます。
送信したい宛先を選択し、[OK]をタップ
します。
チェックが入った宛先に送信されます。



4. [スタート]をタップします。



注記

手順2の ⓘ をタップするとき、グループ宛先が
選択されていない状態で ⓘ をタップしてくだ
さい。



選択された状態で ⓘ をタップして
送信先を選択すると、グループ全宛
先+選択した宛先となり、すべてに
送信されます。



ファクス/スキャンアドレス帳を「登録番号」順に表示したい

従来機



- 従来機の宛先表は、「短縮番号」順に表示されていました。
- 短縮番号をキーにして「表示開始番号」による頭出し表示機能がありました。
- 表示順は、「短縮番号」順が固定で設定などはありませんでした。

新機種

- 「登録番号」順の表示にするためには、設定が必要です。

1. 機械管理者でログインし、歯車をタップします。



2. [設定]をタップします。



3. [アプリ設定]をタップします。



4. [アドレス帳設定]をタップします。



5. [登録番号の表示]をタップし、[する]を選択します。



6. ホームボタンを押します。

注記

「登録番号」順の表示ができるのは、ファクス/スキャン送信/メール送信アプリケーションのアドレス帳のみです。

「登録番号」を登録したい

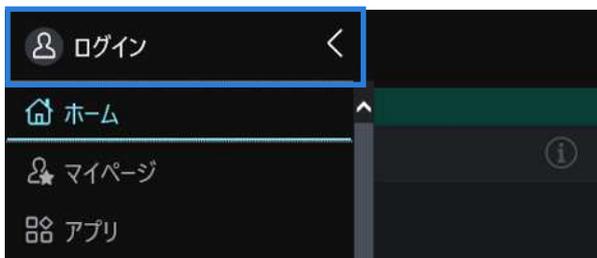
新機種

- 「登録番号」は、操作パネル/インターネットサービスの両方で登録可能です。
ここでは、インターネットサービスでの登録方法をご案内します。

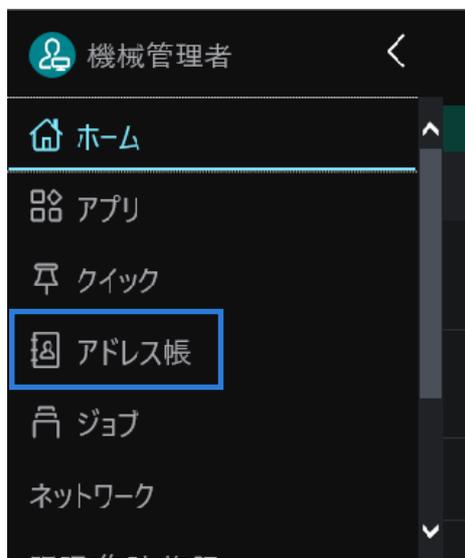
1. インターネットサービスに接続します。
ブラウザのURLに複合機のIPアドレスを入力します。



2. [ログイン]から機械管理者でログインします。



3. [アドレス帳]をクリックします。



4. [ワンタッチボタンとアドレス帳登録番号の設定]をクリックします。



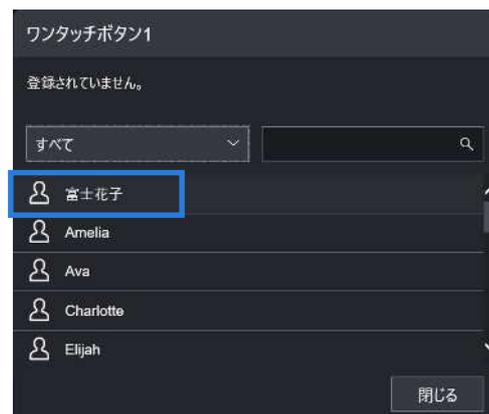
注記

本体の「ワンタッチボタン」が「表示しない」設定になっている場合、設定名称が「アドレス帳の登録番号の設定」となります。

5. [未登録]をクリックします。



6. 登録したい宛先を選択します。



「登録番号」を登録したい

新機種

7. [保存]をクリックします。

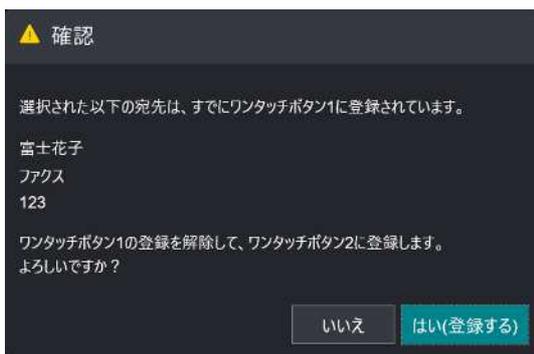


8. 登録完了していることを確認します。



注記

手順(5)で登録済みの宛先をクリックした場合以下のメッセージが表示されます。



登録されていた宛先は、73番以降の空いた番号に自動付与されます。

親展ボックスの新規登録をしたい

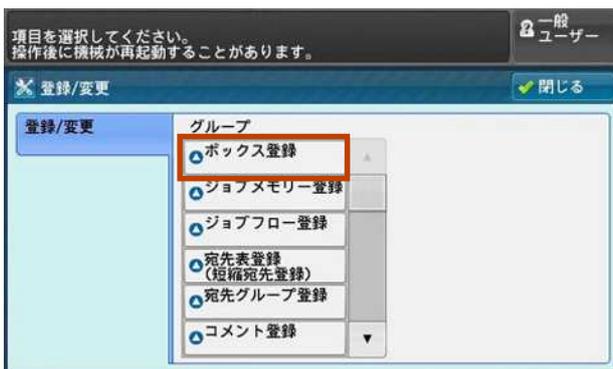
従来機

新機種

1. [登録/変更] ボタンを押します。



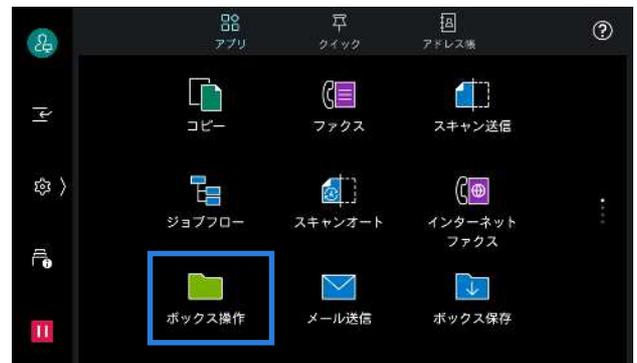
2. [日本語] または [英語] を選択し、
[決定] を押します。



3. 未登録を押します。



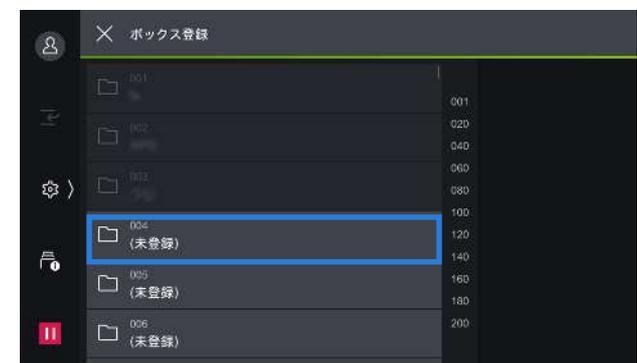
1. [ボックス操作] をタップします。



2. [新規登録] をタップします。



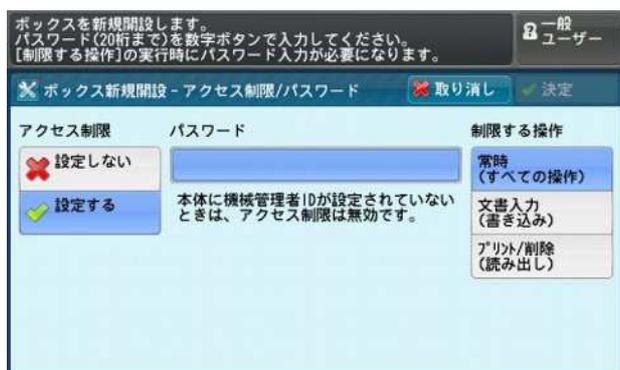
3. [未登録] をタップします。



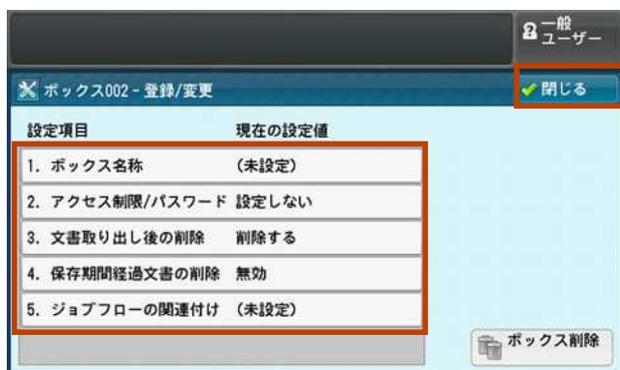
従来機

新機種

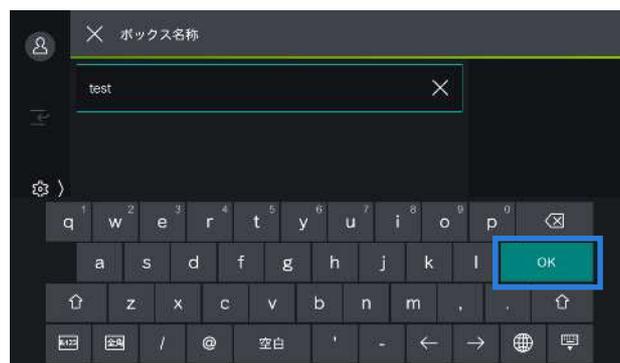
4. アクセス制限を設定し[決定]を押します。



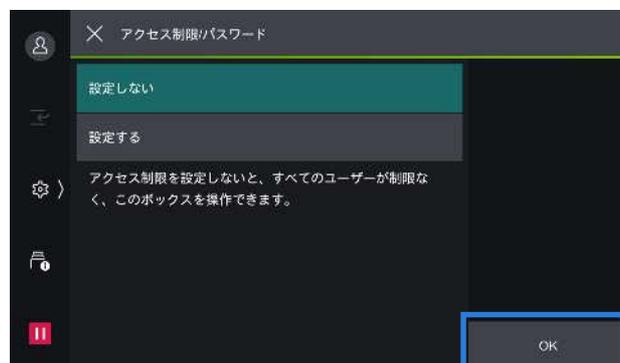
5. ボックス名称やその他の設定をして[閉じる]を押します。



4. ボックス名称を入力して[OK]をタップします。



5. ボックス名称を入力して[OK]をタップします。



6. 必要に応じて設定し、[OK]をタップします。



注記

よく使うボックスに表示をオンにすると該当の親展ボックスへのアクセスが簡単になります。



親展ボックス保存後、インターネットサービスで取り出し

従来機

新機種

1. [スキャナー(ボックス保存)] を押します



2. 該当の親展ボックスを選択します。
必要に応じてスキャン設定をします。



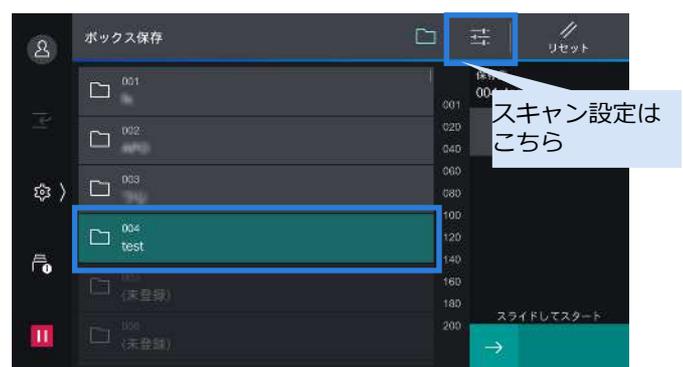
3. 原稿をセットし、スタートボタンを押します。
4. PCからCentreWare Internet Servicesにアクセスします。
(URLに複合機のIPアドレスを入力)
[スキャン]をクリックします。



1. [ボックス保存]をタップします。



2. 該当の親展ボックスをタップします。
必要に応じてスキャン設定をします。



3. 原稿をセットし、スタートボタンを押します。
4. PCからインターネットサービスにアクセスします。
(URLに複合機のIPアドレスを入力)
[アプリ]をクリックします。



従来機

5. 該当の親展ボックスの[文書の一覧表示]をクリックします。



6. 該当の文書にチェックを入れて、文書取り出しの設定をします。
[文書取り出し]をクリックします。



7. リンク先をクリックして、保存先を指定します。



新機種

4. [ボックス操作]をクリックします。



5. 該当のボックスをクリックします。



6. 該当の文書にチェックを入れて、[取り出し]をクリックします。



7. 必要に応じてファイル形式などを設定して[取り出し]をクリックします。



8. ダウンロードをクリックして、保存先を指定します。



よく使う設定を記憶させてワンタッチで操作したい

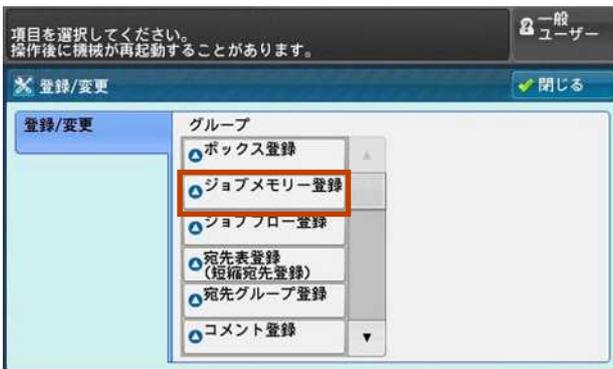
従来機

- 画面のどこを押したかの操作ステップを記憶する「ジョブメモリー」の登録方法

1. [登録] を押します。



2. [ジョブメモリー登録]を押します。



3. [未登録]を押します。



4. ホーム画面に戻ります。記憶したい操作ステップを実施します。最後にスタートボタンを押します。

新機種

- 「ジョブメモリー」の類似機能である「ピン留め」の登録方法

1. 機械管理者モードで記憶したいジョブを実行します。



2. 機械管理者モードのまま、[クイック]をタップします。



3. 履歴の右側にある  をタップしピン留めを選択します。



4. 任意の名称を登録して[OK]をタップします。



5. ピン留めされたことを確認します。



6. ホーム画面の[クイック]をタップして、登録したピン留めをタップするとジョブを実行できます。



注記

⋮ をタップすると[今すぐ実行]することも可能です。ただし、ファクスは[今すぐ実行]できません。



機械管理者が作成した「ピン留め」は、認証ユーザー間で共有することが可能です。

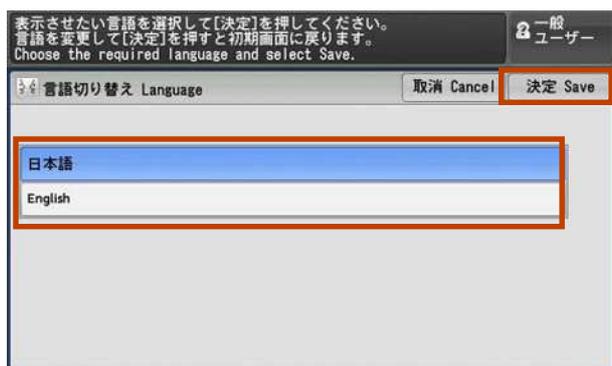
操作パネルの表示言語を変えたい

従来機

1. [言語切り替え] ボタンを押します。



2. [日本語] または [英語] を選択し、[決定] を押します。



注記

従来機では、操作パネルの言語表示は、日本語、英語の2言語のみ対応でした。必要に応じて、英文キットをご利用いただくことでハードキー部分も英語にすることが可能です。

新機種

1. [コントロールメニュー] をタップします。



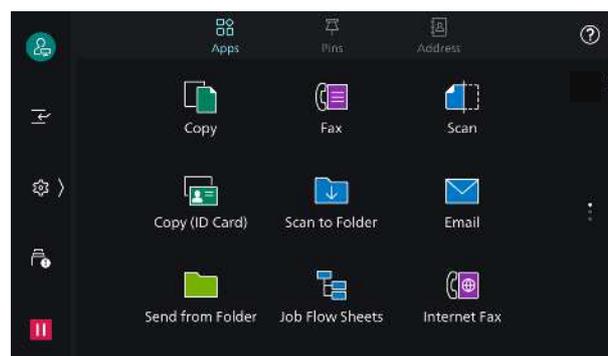
2. [言語切り替え/Language] をタップします。



3. 8言語の中から表示させたい言語を選択し [OK] をタップします。



4. 選択された言語のパネル表示になります。



注記

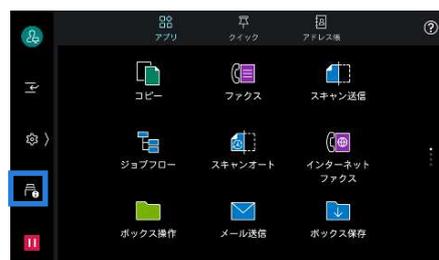
日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語から選択が可能です。ハードキーレスなので操作パネル以外の箇所に影響がありません。

注記

・ ホーム画面の左側に常に表示させる方法

機械管理者でログイン

設定> システム設定> 画面/ボタンの設定> コントロールメニューの機能配置で、[言語切り替え/Language]を1番または2番に設定することで、ホーム画面に地球儀マークが表示されます。



本体の電源を切る方法

—2電源方式から1電源方式に変更—

従来機

1. <電源> スイッチを押して電源を切ります。



2. しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。



3. 画面が消えて<節電> ボタンの点滅が終わるまでお待ちください。



4. 本体内部の主電源を切ります。

注記

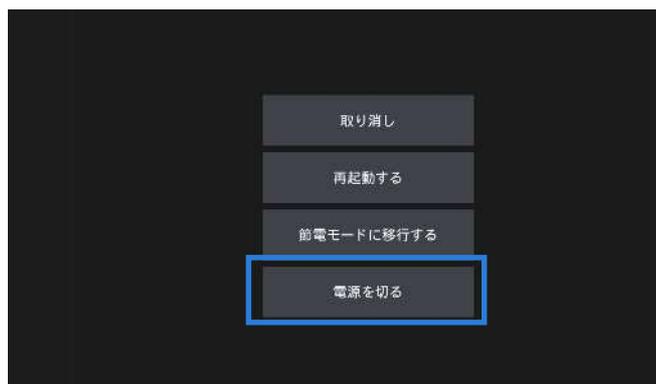
<節電> ボタンが点滅しているときに主電源を切らないでください。故障の原因になります。

新機種

1. <電源> ボタンを押します。



2. [電源を切る] をタップします。



3. <電源> ボタンが点滅します。しばらくの間は、本機内部で電源オフ処理をしています。



4. 電源が切れます。
※主電源ボタンはありません。

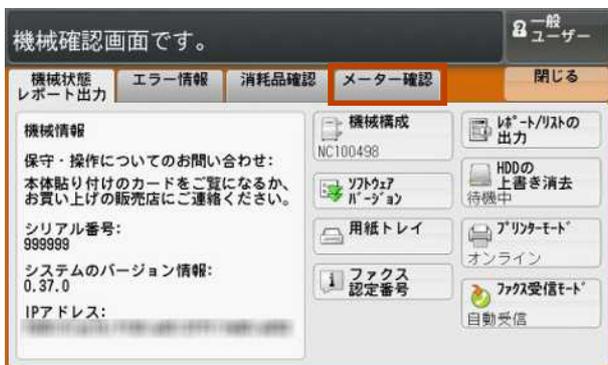
メーター確認方法

従来機

1. <機械確認 (メーター確認)> ボタンを押します。



2. [メーター確認] タブを押します。



3. [メーター確認] を押します。



新機種

1. ホーム画面のコントロールメニューをタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。



3. [メーター確認] をタップします。



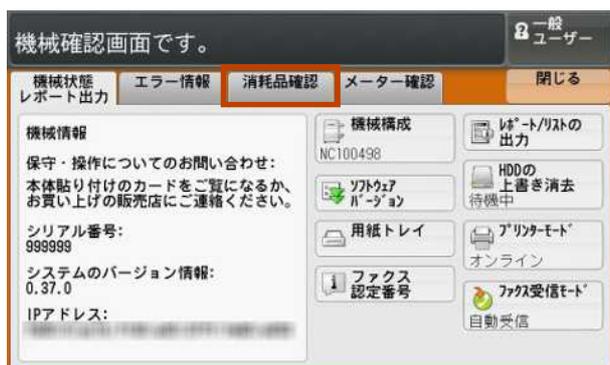
4. メーターを確認できます。



消耗品残量確認方法

従来機

1. <機械確認 (メーター確認)> ボタンを押します。
2. [消耗品確認] タブを押します。



3. トナーの残量を確認します。



4. [その他の消耗品] を選択します。



新機種

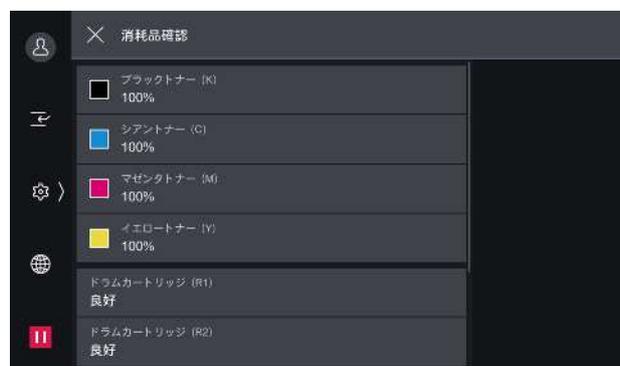
1. ホーム画面のコントロールメニューをタップします。
2. [機械確認 (メーター確認)] をタップします。



3. [消耗品確認] をタップします。



4. トナーの残量を確認できます。



操作パネルに表示する主な機能ボタン-1

	コピー	コピーができます。
	ファクス	ファクス送信ができます。
	インターネットファクス	インターネットファクス送信ができます。
	スキャナー（メール送信）	スキャンしたデータをメールに添付して送ります。
	スキャナー（ボックス保存）	スキャンしたデータを本機の親展ボックスに保存します。
	ボックス操作	本機の親展ボックスに保存されている文書进行操作します。
	スキャン送信	メール送信、SMB/FTP/SFTP送信、URL送信を設定します。
	スキャナー（WSD）	本機にセットした原稿をコンピューターからの操作でスキャンし、保存できます。また、本機の実操作パネルで、ネットワーク上にあるコンピューターを選択して、スキャンデータを保存することもできます。
	IDカードコピー	免許書や社員カードなどのIDカードのおもてとうらを1枚の用紙にコピーします。
	ジョブフロー	本機に登録したジョブフローを使ってスキャンします。ジョブフローとは、スキャン文書などの、配信方法や配信先など一連の処理の流れをあらかじめ本機に設定しておくことによって、定型的な配信作業を効率化することができる機能です。
	ポーリング予約	原稿を蓄積しておいて、相手先からの操作で送信できます。
	文書プリント	USBメモリーに保存されている文書（PDF、TIFF、XML Paper Specification（XPS）、DocuWorks（XDW、XBD）、JPEG（JFIF））ファイルを取り込んでプリントします。スキャナーの「USBメモリー保存」機能を使って保存したデータのプリントもできます。*オプション
	外部アクセス	本機に組み込まれたブラウザーから、ネットワークを介してWebサーバーにアクセスし、データを格納したり表示したりします。 *オプション
	アドレス帳	ユーザー別にファクス・インターネットファクス・SMB/FTP/SFTP・メール・SIPファクスのアドレスを登録します。5000ユーザー×5で最大25000の情報を登録できます。
	クイック	ジョブの履歴が表示されます。履歴から同じ設定でジョブをスタートすることができます。よく使う設定は、ピン留めで登録することができます。認証している場合、自分だけの履歴やピン留めが表示されます。
	ジョブ情報	実行中や実行待ちのジョブや、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、プリント待ちや操作待ちのジョブをプリントしたりできます。
	割り込み	連続コピー中やプリント中に、実行中の作業を一時中断して、ほかの作業を優先できます。割り込み中に、【割り込み解除】をタップすると、元の作業が再開されます。

操作パネルに表示する主な機能ボタン-2

	リモートアシスタンス	操作方法でお困りのとき、オペレーターと画面を共有しながら、オペレーターの指示で問題を解決できます。
	ヘルプ	操作方法を確認したり、タッチパネルに表示されたエラーコードの詳細を調べたりすることができます。このボタンを初めて使用するときは、機械管理者モードで利用規約への同意が必要になります。
	プライベートプリント	プリントを指示したデータを一時的に認証用ユーザーIDごとに蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。必要な文書だけ選択してプリントできるため、無駄な出力を抑えることができます。また、認証されたユーザーの文書およびユーザーに関連づけられたサブユーザーの文書しか本機に表示されないため、プライバシーの保護を図ることができます。
	セキュリティプリント	プリントを指示したデータを一時的に本機内に蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。パスワードを設定できるので、機密文書などをプリントする場合に便利です。
	サンプルプリント	複数の部数をプリントする場合、試しに1部だけプリントして内容を確認したあと、残りの部数を本機側からプリントできます。
	時刻指定プリント	プリントを指示したデータを一時的に本機内に蓄積させ、指定した時刻にプリントできます。
	認証プリント	認証プリントは、本機にユーザーを認証させることにより、不正なプリントをさせない機能です。認証されたユーザーのジョブだけを、プリントできます。また、本機の設定により、一時的に本機にプリントジョブを蓄積してから本機の操作でプリントできます。
	ID選択プリント	「認証プリント」で機械に蓄積した文書を連携した複合機からプリントすることができます。50台まで連携することが可能です。
	どこでもプライベートプリント	「プライベートプリント」で機械に蓄積した文書を連携した複合機からプリントすることができます。50台まで連携することが可能です。

操作パネルに表示する主な機能ボタン-3

	USB	USBメモリーにスキャン文書を保存したり、USBメモリー内に保存されている文書やデジカメ画像をプリントすることができます。
	スキャンオート	原稿をセットして“スタート”ボタンを押すだけで、最適に設定されたスキャン文書を、メールまたはスキャナー（PC保存）機能で送ることができます。
	業務別らくらくスキャン	文書の種類を選択するだけで、あらかじめ設定されたルール通りにファイル名をつけて所定の保存先に直接スキャン文書を格納します。
	ペーパーレスファクス仕分け	ファクス受信した文書のプリント、ボックスへの保存、転送、および仕分けを自動で行います。
	ペーパーレスファクス設定	ペーパーレスファクスを実施するためには、ボックスの開設からジョブフローの作成、ジョブフローとボックスの関連付けなど多くの設定が必要です。これらをまとめて簡単に設定できる機能です。
	サーバーレス認証	サーバーレス環境でユーザー認証情報を複数の複合機間で共有でき、連携するどの複合機からでも、ICカードの登録や認証操作ができます。
	ジョブ履歴配信	複合機のジョブ履歴をCSVファイルで取得することができます。
	管理者からのお知らせ表示	機械管理者が設定したお知らせを、複合機の操作パネルに表示できます。
	ICカード登録	認証用ICカードを、ユーザー自身が簡単に複合機に登録することができます。
	ICカードID確認	「ICカードリーダーシリーズ」でICカードIDを確認することが可能です。
	スキャン翻訳サービス	複合機やパソコンを通じて紙文書や電子文書を多言語に翻訳します。
	WorkingFolder連携	セキュアで大容量のクラウドストレージ
	Cloud On-Demand	PCやモバイル端末からインターネット上のクラウドサーバーに文書を登録し、移動先の複合機からIDとパスワードを使用してオンデマンドでプリント。データ紛失の心配や専用ドライバーも不要で、必要な文書が簡単かつセキュアにプリントできます。
	Device Log Service	機器の使用状況を、Webブラウザを使って集計・参照できるサービスです。集計結果は、表やグラフで見やすく色分けされ、出力も可能。対象機器やユーザーIDを絞り込んで集計できるので、個人や部門ごとに費用を管理できます。
	Cloud Service HUB	主要なクラウドサービスをひとつのインターフェイスで接続。煩雑さを解消して業務の効率化を実現し、ユーザーの利便性を向上させます。

FUJIFILM

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 Tel 03-6271-5111 fujifilm.com/fb

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。本ドキュメントは富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。Xerox、Xerox ロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。本書の内容は2022年5月現在のものです。